

特別天然記念物オオサンショウウオについて

●オオサンショウウオって何？●

オオサンショウウオはカエルやイモリと同じ両生類で、その中でも世界でいちばん大きい、日本固有の生物です。大きなものでは1.5mにもなります。

3千万年前からほとんど変化していないため、生きた化石とも言われています。

昭和27年(1952年)に国の特別天然記念物に指定されました。



●オオサンショウウオはどこに住んでいるの？●

オオサンショウウオは山地や里山を流れる清流の川岸にある横穴や大きな岩の下にひそんでいます。オオサンショウウオが生息しているということは、豊かな自然環境が残されているということです。

●何を食べているの？●

オオサンショウウオは夜行性で、夜になるとエサを求めてすみかから姿をあらわします。水性昆虫、魚、サワガニ、カエル、時には共食いもします。

●オオサンショウウオを発見したら？●

特別天然記念物オオサンショウウオは、文化庁の許可を取らずにさわることにはできません。オオサンショウウオを発見したら、発見した市町村または県の教育委員会に連絡してください。

奈良県教育委員会 Tel:0742-27-9866

●どこで卵を産むの？●

オオサンショウウオは8月末から9月はじめに、川岸の横穴や大きな岩の下で産卵し、オスが卵を守ります。

卵はおよそ40~50日でふ化し、幼生(ようせい)は約5cmほどの大きさになると巣穴から出て、ひとりだちします。



●オオサンショウウオを守っていくには？●

近年の川岸のコンクリートブロック化や自然環境の悪化などオオサンショウウオをとりまく環境はきびしいものがあります。奈良県では河川工事の時に保護調査を実施したり、工法に寄せ石やスロープをとりいれるなど、オオサンショウウオの保護と環境の保全に力をそそいでいます。

きれいな川を維持するためには、みなさんの協力も必要です。ゴミなどは川にぜったいに捨てない・食べ残しは水に流さないで生ゴミとして捨てるなど、できることはたくさんあります。



オオサンショウウオの住む自然豊かな環境をみなさんの手で守っていきましょう。